

各教員あて通知内容

「平成23年度第2学期授業アンケート」集計表

部局名：法学研究科・法学部

氏名：吉田 広志

科目名：演習Ⅲ(知的財産法)

授業の形態：演習 科目区分：専門科目

必修・選択：選択 提出枚数：30 登録学生数：26～50人

設 問 内 容	5 (%)	4 (%)	3 (%)	2 (%)	1 (%)	無回答 (%)	平均	全体平均	全学教育平均	専門教育平均	専門教育平均 (当該部局)	講義科目平均	演習科目平均	必修科目平均	選択科目平均
1. シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示していた。	80.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.80	4.17	4.15	4.19	4.49	4.16	4.28	4.16	4.20
2. 授業はシラバスにそって行われていた。	86.67	13.33	0.00	0.00	0.00	0.00	4.87	4.19	4.17	4.21	4.52	4.18	4.29	4.18	4.21
3. 授業で要求される作業量(レポート、課題、予習・復習など)は適切であった。	63.33	20.00	16.67	0.00	0.00	0.00	4.47	4.07	4.08	4.06	4.27	4.06	4.16	4.05	4.10
4. 授業内容の難易度は適切であった。	6.67	33.33	60.00	0.00	0.00	0.00	4.07	3.84	3.81	3.86	3.97	3.82	3.96	3.78	3.92
5. 教員の説明はわかりやすかった。	73.33	23.33	0.00	3.33	0.00	0.00	4.67	4.03	4.00	4.04	4.44	4.00	4.22	4.00	4.06
6. 教員の熱意が伝わってきた。	83.33	16.67	0.00	0.00	0.00	0.00	4.83	4.14	4.12	4.15	4.44	4.12	4.31	4.11	4.18
7. 教員の話し方は聞き取りやすかった。	70.00	23.33	3.33	3.33	0.00	0.00	4.60	4.11	4.09	4.12	4.46	4.08	4.30	4.09	4.14
8. 教員は効果的に学生の参加(発言、自主的学習、作業など)を促した。	86.67	13.33	0.00	0.00	0.00	0.00	4.87	3.82	3.77	3.85	3.87	3.76	4.27	3.84	3.78
9. 教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。	90.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.90	4.08	4.07	4.09	4.36	4.04	4.36	4.07	4.10
10. 黒板、教科書、プリントやAV機器等の使い方が効果的であった。	86.67	13.33	0.00	0.00	0.00	0.00	4.87	4.01	3.98	4.02	4.06	3.99	4.11	3.97	4.06
14. 私はシラバスの到達目標を達成できた。	43.33	43.33	13.33	0.00	0.00	0.00	4.30	3.49	3.45	3.51	3.43	3.45	3.78	3.47	3.53
15. 授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。	70.00	26.67	3.33	0.00	0.00	0.00	4.67	3.78	3.71	3.83	4.03	3.75	4.02	3.73	3.87
16. 授業は全体として満足できるものであった。	86.67	13.33	0.00	0.00	0.00	0.00	4.87	4.04	4.03	4.06	4.41	4.01	4.29	3.99	4.12
平 均 値	75.38	18.21	5.38	0.51	0.51	0.00	4.67	3.98	3.96	4.00	4.21	3.96	4.18	3.96	4.02

11. この授業の自分の出席率は()%程度であった。	83.33	16.67	0.00	0.00	0.00	0.00	4.83	4.61	4.62	4.60	4.47	4.59	4.73	4.61	4.59
12. 質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。	70.00	23.33	6.67	0.00	0.00	0.00	4.63	3.56	3.55	3.57	3.54	3.51	3.93	3.56	3.56
13. この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした時間は平均()であった。	50.00	16.67	20.00	10.00	3.33	0.00	4.00	2.15	2.06	2.21	2.35	2.13	2.30	2.21	2.05
平 均 値							4.49	3.44	3.41	3.46	3.45	3.41	3.66	3.46	3.40

※ 評点については次のとおりとする。

- ① 設問1～3、5～10、12、14～16
- ② 設問4
- ③ 設問11
- ④ 設問13

：「5・4・3・2・1」は、「強く思う・そう思う・どちらともいえない・そうは思わない・強く思わない」を意味する。
 :「5・4・3・2・1」は、「A極めて難しい・B難しい・C適切・Dやさしい・E極めてやさしい」を意味する。
 なお、各教員の設問1～15の平均値を算出するために「C→5・BD→3・AE→1」として計算した。
 :「5・4・3・2・1」は、「ほぼ「100%・80%・60%・40%・20%」を意味する。
 :「5・4・3・2・1」は、「4時間以上・3時間・2時間・1時間・30分以下」を意味する。

追加設問

設 問 内 容	5 (%)	4 (%)	3 (%)	2 (%)	1 (%)	無回答 (%)	平均
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

※設問及び回答の選択肢は教員各自が設定しているため空欄となっている。

部局名 法学研究科・法学部
氏名 吉田 広志

授業形態 演習
科目区分 専門科目 選択 科目名 演習Ⅲ(知的財産法)

提出枚数 30
登録学生数 26～50人

○学生自由意見

【良かったと思う点】

- 0099-001 ・ 1人1人考え、発言する機会をゼミ生全員平等に与えていること。
0099-002 ・ 「楽しみながら勉強できる」とはまさにこのこと！！法判例室、パワーポイント、ワード等一通りのことが学べる。
0099-003 ・ 自分のディベートでの様子を他者に批評してもらえる点。
0099-004 ・ 自分から進んで積極的に勉強することが自然にできる。授業として必要な分以上に勉強したいと思うようになる。
0099-005 ・ 法律の勉強だけでなく、プレゼン、ディベート能力もきたえることができる。
0099-006 ・ 今年も見ごたえのあるディベートが楽しめました。
0099-007 ・ 非常に頭を使われ、自分の致らなさが身に染みる経験を積ませてもらったこと。
0099-008 ・ 自分の思っていることを伝えることの大切さと難しさを学びました。本当に少しずつですが、伝える力が身についたのかな、と思っています。でも一番大きな収穫は、仲間と思い出です。ありがとうございました。
0099-009 ・ 法律の勉強だけでなく、同期・先輩・後輩と人間関係を深く構築できる点。立教大学と合同ゼミがあった点。
0099-010 ・ ディベートによって、ゼミ生同士が皆仲良くなれたと思うし、論理的思考も(ちょっとは！？)身に付いたかな、と思います。本当にこのゼミには感謝です！ありがとうございます！！
0099-011 ・ 知識だけではなく、ディベートを通してプレゼンテーション能力が向上したと思います。
0099-012 ・ ・勉強への意欲が増す構成になっており、知識量・能力が確実に向上した。・ゼミ生同士の仲がかなり深まった。・大学の講義の中で、今まで最も本気になった。
0099-013 ・ ディベートに取り組むことで、勉強内容もちろんでしたが、チームで活動していくことで様々なことを学べて、とても充実した1年間となりました。ありがとうございました。
0099-014 ・ 前期発表、後期ディベートという流れで自然と勉強の意欲が高まりました。ゼミ生と遊んだりする色々なイベントが多くてディベートがやりやすかったです。立教大学に行けたことは本当に勉強になったと思います。
0099-015 ・ ・4年生との合同ゼミである点。・自分の発言が尊重される点。・スキルアップを実感できる点。
0099-016 ・ 「プレゼンテーション能力」と「ディベート能力」をつけたいと思って参加したが、自分としてのその目標は十分に達成できたと感じている。そのような場を提供してくれた先生に、心から感謝したい。前期は「学びと」と「練習」、後期は「トーナメントディベート」という構成も、皆の成長に、最適なやり方だと思う。特に、トーナメント方式が、やる気を助長させてくれた。
0099-017 ・ 単純な発表スタイルではなくディベート形式なので自分がより主体的に取り組むことができてよかった。
0099-018 ・ 法律の理解だけでなく、ディベートを通して人に対して伝える能力を身につけることができた。
0099-019 ・ ディベート形式であったこと。
0099-020 ・ 同期とはもちろん、先輩とのつながりを強くもてた。初めてこんなに深く勉強したいと思えた。
0099-021 ・ ディベートなどにより、学生の自学自習が促されていた。
0099-022 ・ 自主的に勉強できる点。
0099-023 ・ 社会に出る上で必要な考え方やコミュニケーションの取り方、説明の仕方を学べた。
0099-024 ・ ディベートを通して、成長することができたと思います。論理的に考える、議論する、発言する、といった部分で自分にプラスになったと思います。
0099-025 ・ ディベートを通じて、著作権法の知識を高めるだけでなく、相手を説得させ、聴衆も意識しなければならない状況でパフォーマンスも考えさせられた。

【改善した方が良くと思う点】

- 0099-003 ・ 個人の能力・意欲で参加度に差が出る点がある点。
0099-006 ・ もっと広い教室にしませんか？
0099-008 ・ 研究室に遊びに行きづらい。
0099-014 ・ PC室のうるさは気になっていました。
0099-018 ・ ゼミ合宿の参加料が高いところ。
0099-022 ・ ディベートの事案えらび。

【その他、気づいたこと】

- 0099-002 ・ 2年間、本当にありがとうございました。編入という身分で、『居場所』のない自分が楽しみながら勉強し、心地よい場、仲間と共にこの時間を過ごせたことは、まぎれもなく僕の財産です。
0099-004 ・ 2年間本当にお世話になりました！！一瞬研究大学院行こうかと思うくらい知財の勉強楽しかったです。
0099-009 ・ B10gなどで逆に宣伝しすぎたから、2年生の応募が少なかったのかな～と思いました。個人的意見ですが…。

部局名 法学研究科・法学部
氏名 吉田 広志

授業形態 演習
科目区分 専門科目

選択

科目名 演習Ⅲ(知的財産法)

提出枚数 30
登録学生数 26～50人

○学生自由意見

0099-014 ・来年も楽しいゼミになるといいなと思います。

0099-018 ・一年間ありがとうございました。今年もよろしくお願いします。